

米山奨学生 近況報告です。

張鑫宇 チョウシンウ

ZHANG XINYU

文教大学国際学部国際観光学科



今年の四月から、国際ロータリー第2780地区に入り、茅ヶ崎中央クラブにお世話になっています。まず、ロータリアン達や奨学生、学友達に感謝の

気持ちを強く申し上げたいと思います。2013年から来日し、ずっと日本語学校、大学の校内生活を過ごしてきましたが、四月から色々な奉仕活動や毎月の例会に参加させて頂いたことによって、出逢いが増えたことだけではなく自分の視野を広げ、社会経験を豊かにすることができました。

この一年を振り返ってみますと、就活生から進学生に変わりました。二月から四年生である私が就職活動を2ヶ月間苦戦していたのですが、ロータリー米山奨学会に入って多くの奨学生と出会って、自分の専攻を持ち、深く研究している奨学生が多く存在しています。観光学科に所属している私が主に経済、経営科目の講義を履修しましたが、そもそも数学に興味を持ち、『観光や会計』の講義を受けて日本の会社の財務会計に興味を持ち始め、公認会計士を目指したいと強く思っています。その為、大学院で会計知識を身につけたいという思いで大学院に進学する事にしました。多くの奨学生と話し合い、将来的に自分の武器になれるものを作り出したいです。限られている2年間で一つの分野である会計の勉強を集中し、全力で資格取得を努力していきたいと思えます。奉仕活動について、「西日本豪雨災害募金」という活動で浴衣を着て街中で100円の募金活動に参加させていただき、見知らぬ人からただ100円だけを応援していただくと凄く助かりました。

毎月の例会について、毎月クラブの会員達と自分のカウンセラーとの顔を合わせる機会というより、自分の社会経験を豊かにするための勉強会と言い過ぎではありません。一次会、二次会とも出席させていただき、多くの社会人と日本の事や国際の事を交流しています。そして、一番感謝したい

方は私のカウンセラー池亀さんです。家からクラブまでかなり遠く、毎回、池亀さんが車で家まで送って頂き、私にとって本当に優しいお爺さんのような存在です。この一年に体験した事や出会った人が今後の私には最大の財産なのです。社会に出る前に色々な人脈やコピーできない人生経験が今後の生活にきっと役に立つと思えます。できれば、今後、自分の力で社会奉仕活動を行いたいと考えています。

